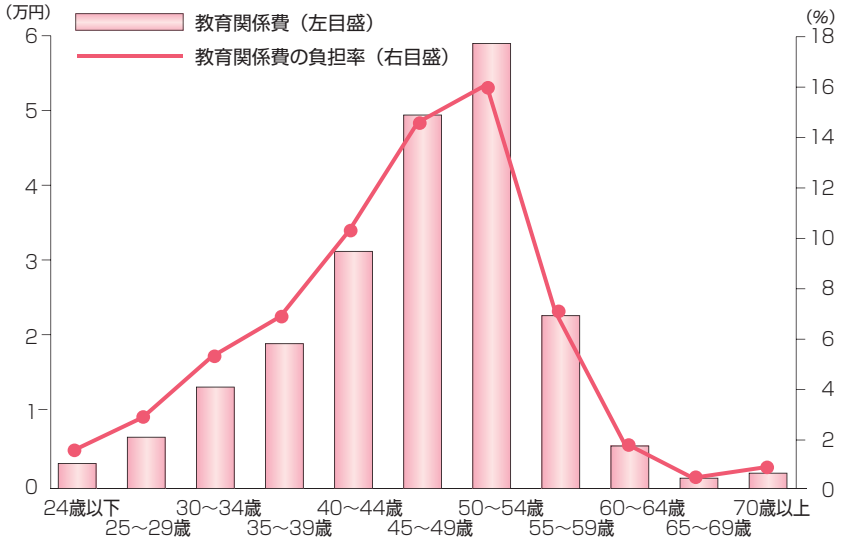
図表4-1 世帯主の年齢別にみた教育費の状況(2010年/平成22年)

	消費支出(A)(円)	教育費(B)(円)	B／A(%)	教育関係費(C)(円)	C／A(%)	世帯人数(人)
平　均	290,244	11,734	4.0	19,128	6.6	3.09
24歳以下	212,752	2,740	1.3	3,304	1.6	2.96
25～29歳	234,023	5,674	2.4	6,790	2.9	3.18
30～34歳	254,634	10,283	4.0	13,422	5.3	3.50
35～39歳	279,364	14,804	5.3	19,159	6.9	3.70
40～44歳	303,951	23,561	7.8	31,369	10.3	3.78
45～49歳	337,617	33,996	10.1	49,401	14.6	3.78
50～54歳	365,300	31,179	8.5	58,858	16.1	3.50
55～59歳	323,078	10,646	3.3	22,865	7.1	3.11
60～64歳	303,487	1,989	0.7	5,630	1.9	2.79
65～69歳	266,579	374	0.1	1,372	0.5	2.53
70歳以上	238,009	698	0.3	2,035	0.9	2.42



資料:総務省「家計調査年報(家計収支編) 平成22年」
(注)1. 全国、二人以上世帯、年平均1カ月の支出。
2. 教育関係費は、教育費に給食費、制服、定期券代などを加えたもの。
3. 教育関係費の負担率は、消費支出に占める教育関係費の割合。

図表4-2 保護者が支出した教育費(2010年度/平成22年度)

	幼稚園		小学校
	公立	私立	公立
学校教育費 (A)	129,581	358,313	54,929
(A／D) %	55.9	66.7	18.1
授業料	73,043	242,986	—
修学旅行・遠足・見学費	2,673	3,474	6,593
学級・児童会・生徒会費	4,298	404	4,208
PTA会費	4,285	5,741	2,966
その他の学校納付金	3,899	44,752	1,520
寄付金	149	921	78
教科書費・教科書以外の図書費	1,138	2,044	1,939
学用品・実験実習材料費	9,172	10,138	16,272
教科外活動費	763	2,932	2,593
通学費	5,606	18,556	1,346
制服	3,043	6,247	2,837
通学用品費	13,844	10,369	11,241
その他	7,668	9,749	3,336
学校給食費 (B)	18,834	28,078	42,227
(B／D) %	8.1	5.2	13.9
学校外活動費 (C)	83,505	151,127	206,937
(C／D) %	36.0	28.1	68.1
補助学習費	26,847	53,589	85,649
家庭内学習費	15,716	19,126	16,833
物品費	10,041	11,583	9,566
図書費	5,675	7,543	7,267
家庭教師費等	3,269	6,840	14,468
学習塾費	7,437	26,038	52,245
その他	425	1,585	2,103
その他の学校外活動費	56,658	97,538	121,288
体験活動・地域活動	1,523	2,534	4,684
芸術文化活動	17,000	28,125	34,343
スポーツ・レクリエーション活動	24,064	43,049	51,656
教養・その他	14,071	23,830	30,605
月謝等	8,012	15,744	22,911
図書費	2,893	4,409	3,803
その他	3,166	3,677	3,891
合計(D)＝(A＋B＋C)	231,920	537,518	304,093

資料:文部科学省「平成22年度 子どもの学習費調査」(隔年調査)
(注)1. 調査対象　公立並びに私立の幼稚園、小学校、中学校及び高等学校(全日制)の幼児・児童・生徒。
2. 調査する費用の対象期間は、平成22年4月1日～平成23年3月31日。
3. 子ども1人当たりの年間支出金額。
4. 学校外活動費は、保護者が子どもの学校外活動のために支出した経費。

（単位:円、%）

小学校	中学校		高等学校（全日制）	
私　立	公　立	私　立	公　立	私　立
835,202	131,501	990,398	237,669	685,075
57.0	28.6	77.5	60.4	74.2
429,643	—	418,476	0	225,385
37,714	24,797	70,001	32,324	52,594
10,420	5,547	14,036	12,316	13,131
13,753	3,724	13,364	8,130	13,016
187,029	4,896	237,315	27,987	185,993
22,172	487	5,975	344	2,178
5,375	5,981	12,745	19,131	19,572
25,177	19,961	24,355	17,408	18,480
10,339	27,717	49,266	41,570	43,356
39,730	7,795	82,211	43,198	68,834
28,476	17,842	42,237	21,596	27,045
16,263	9,098	13,160	9,642	9,137
9,111	3,656	7,257	4,023	6,354
46,052	35,448	9,429	—	—
3.1	7.7	0.7	0.0	0.0
584,069	292,562	278,863	155,795	237,641
39.9	63.7	21.8	39.6	25.8
295,889	229,612	181,128	124,663	188,069
42,510	15,127	25,065	19,165	20,949
21,672	5,184	10,851	10,569	9,681
20,838	9,943	14,214	8,596	11,268
42,543	25,072	30,812	17,192	32,557
203,085	182,455	119,740	77,025	117,120
7,751	6,958	5,511	11,281	17,443
288,180	62,950	97,735	31,132	49,572
22,194	2,437	7,984	2,444	4,254
123,107	27,103	42,364	12,208	17,025
77,947	19,463	23,814	5,709	10,483
64,932	13,947	23,573	10,771	17,810
41,682	7,841	7,964	3,920	6,741
14,169	3,386	8,251	2,762	4,437
9,081	2,720	7,358	4,089	6,632
1,465,323	459,511	1,278,690	393,464	922,716

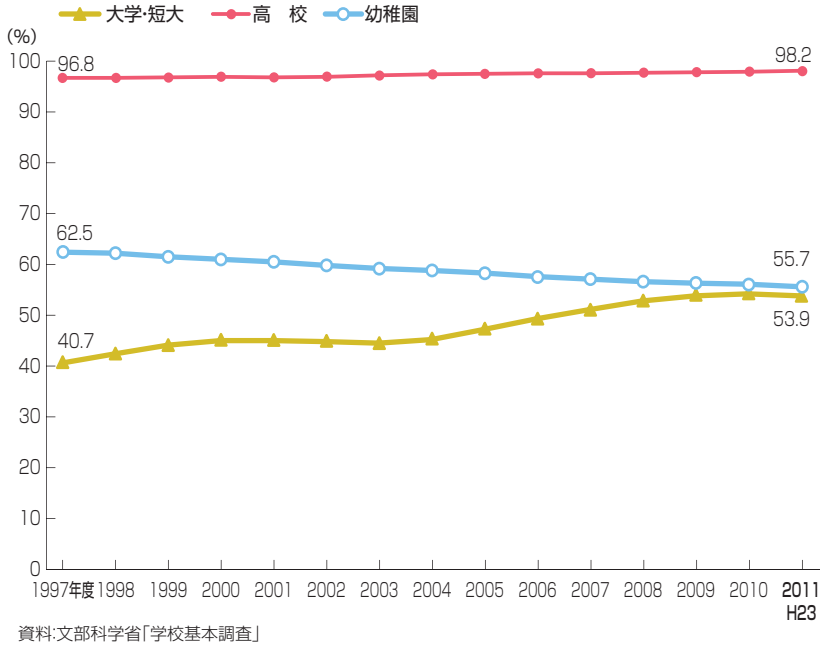
図表4-3 教育程度(在学率)の国際比較(2009年/平成21年)

(単位:%)

		日本	アメリカ	イギリス	フランス	韓国
男性	初等教育	—	90.0	99.5	98.4	99.7
	中等教育	98.2	86.6	91.8	97.7	97.5
	高等教育	62.1	71.9	49.6	48.6	116.9
女性	初等教育	—	92.1	99.7	98.6	98.2
	中等教育	98.6	88.7	94.7	99.6	93.9
	高等教育	55.0	100.6	68.9	62.3	81.5

資料:総務省「世界の統計2012」
(注)1.「在学率」とは、就学年齢人口に対する在学者数の割合。ただし、高等教育は就学年齢以外の在学者数も含むため、在学率が100%を超える場合がある。
2. データは国・公・私立学校及びその他の教育機関の合計である。
3. イギリスの初等および中等教育は2008年のデータ。原則として各国の調査や行政記録等に基づいている。

図表4-4 幼稚園、高校、大学・短大の進学率



資料:文部科学省「学校基本調査」
(注)1.「幼稚園」は、小学校第1学年児童数に対する幼稚園修了者数の比率。
2.「高校」は、中学校卒業生及び中等教育学校前期課程修了者を母数とした進学率。
3.「大学・短大」は、現役進学率。

図表4-5 在学者1人当たり教育支出の国際比較（2008年/平成20年）

（購買力平価によるドル換算額）

	就学前教育（3歳児以上）	初等教育	中等教育			高等教育以外の中等後教育	高等教育		
			前期中等教育	後期中等教育	全中等教育		非大学型高等教育	大学型高等教育及び上級研究学位プログラム	全高等教育
オーストラリア	6,408	6,723	9,200	8,821	9,052	6,769	8,395	16,297	15,043
フランス	5,787	6,267	8,816	12,087	10,231	不明	11,461	14,945	14,079
ドイツ	6,887	5,929	7,509	10,597	8,606	8,495	7,693	17,114	15,390
イタリア	8,187	8,671	9,616	9,121	9,315	不明	8,944	9,556	9,553
日本	4,711	7,491	8,621	9,559	9,092	（注2）	9,451	16,533	14,890
韓国	4,281	5,420	6,307	9,666	7,931	該当項目なし	5,742	10,109	9,081
メキシコ	2,391	2,246	1,853	3,277	2,333	該当項目なし	（注4）	（注4）	7,504
イギリス	7,119	8,758	9,737	9,307	9,487	（注3）	（注4）	（注4）	15,310
アメリカ合衆国	10,070	9,982	11,551	12,690	12,097	不明	（注4）	（注4）	29,910

資料:OECD「図表で見る教育OECDインディケータ」(2011年版)
(注)1.国公立教育機関のみ。イタリアは高等教育では私立を含む。
2.後期中等教育、全高等教育に含まれる。
3.後期中等教育に含まれる。
4.全高等教育に含まれる。

図表4-6 子育て費用（2009年/平成21年）

（単位:円）

	生活費	教育費			子ども関連費用	その他	合計
		学校教育費	学校外教育費	学校外活動費			
未就園児	398,368	—	35,306	47,478	590,005	124,488	1,195,645
保育所・幼稚園児	395,325	—	53,654	81,588	673,679	155,407	1,359,653
小学校（低学年）	422,649	108,297	89,955	106,664	348,278	182,480	1,258,323
小学校（中学年）	438,594	95,509	119,049	118,804	341,727	203,928	1,317,610
小学校（高学年）	476,222	114,610	203,139	108,591	337,016	200,596	1,440,175
中学生	551,387	274,424	280,389	78,551	330,657	184,330	1,699,738
合計	2,682,545	592,840	781,491	541,677	2,621,363	1,051,229	8,271,144

資料:内閣府「インターネットによる子育て費用に関する調査」平成21年度
(注)1.調査対象と地域　第1子として0歳～中学3年生（15歳）までの子を持つ親。全国。
2.有効回収数　11,145サンプル（有効回収率45.4%）。
3.調査方法と時期　インターネットによる調査。2009年11月1日（日）～11月30日（月）。

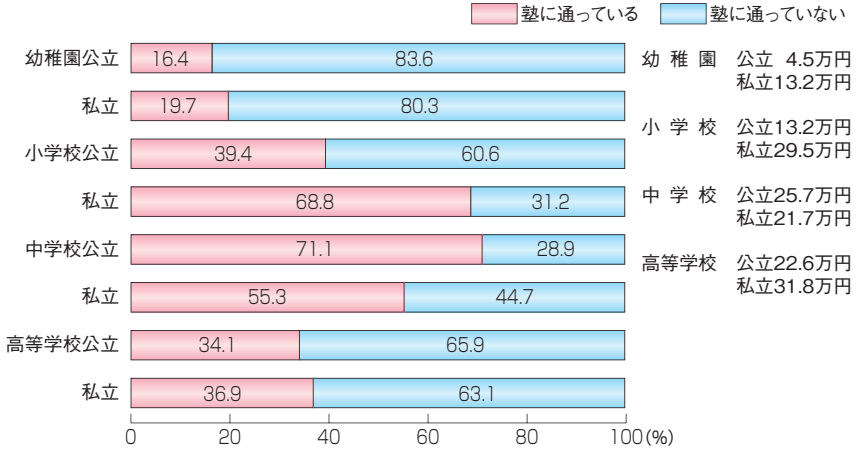
図表4-7 大学の初年度納入金(2010年度/平成22年度)

(単位:千円)

	初年度納入金額	入学料	授業料	施設設備費
国立大学(昼間部)	817.8	282.0	535.8	—
私立大学(昼間部)	1,315.7	268.9	858.3	188.5
文科系	1,155.3	252.3	742.2	160.8
うち 文・教育	1,188.5	258.5	756.9	173.1
うち 法・商・経	1,135.1	250.4	733.9	150.8
理科系	1,501.8	268.7	1,041.6	191.5
うち 理・工	1,408.4	253.7	984.4	170.3
うち 薬	2,115.7	354.4	1,462.5	298.8
うち 農・獣医	1,353.7	260.7	896.1	197.0
医科	5,039.0	1,317.0	2,637.0	1,085.0
歯科	4,683.9	607.8	3,474.3	601.7
その他	1,464.2	277.0	941.9	245.3
うち 家政	1,257.3	271.9	775.4	210.0
うち 芸術	1,692.6	271.7	1,121.1	299.8
うち 体育	1,283.8	267.7	784.3	231.9

資料:文部科学省調べ

図表4-8 学習塾利用の子どもの割合と年間費用(2010年度/平成22年度)



資料:文部科学省「平成22年度 子どもの学習費調査」(隔年調査)
(注)1. 調査対象 公立並びに私立の幼稚園児、小学校、中学校及び高等学校(全日制)の幼児・児童・生徒。
2. 調査する費用の対象期間は、平成22年4月1日～平成23年3月31日。
3. 上記年間費用額は、塾利用者の平均額。

図表4-9 国立学校の年間授業料

（単位:千円）

			1980年度	1985	1990	1995	2000	2005	2011/H23
幼稚園			33.6	48.0	56.4	66.0	68.4	73.2	**73.2**
盲・聾・養護学校		幼稚部	3.6	3.6	3.6	3.6	3.6	3.6	**3.6**
		高等部	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	**4.8**
高等学校			45.6	74.4	88.8	104.4	108.0	115.2	**115.2**
高等専門学校			80.4	111.6	150.0	196.8	210.0	234.6	**234.6**
短期大学			132.0	184.8	248.4	326.4	348.6	390.0	**390.0**
大学	学部	昼間	180.0	252.0	339.6	447.6	478.8	535.8	**535.8**
		夜間	90.0	126.0	169.8	223.8	239.4	267.9	**267.9**
	専攻科	特殊教育	108.0	132.0	175.8	229.8	245.4	273.9	**273.9**
		その他	180.0	252.0	339.6	447.6	478.8	535.8	**535.8**
	別科	音楽	180.0	252.0	339.6	447.6	478.8	535.8	**535.8**
		養護教諭	108.0	132.0	175.8	229.8	245.4	273.9	**273.9**
		その他	132.0	184.8	248.4	326.4	348.6	390.0	**390.0**
大学院研究科			180.0	252.0	339.6	447.6	478.8	535.8	**535.8**

資料:文部科学省「国立学校における授業料その他の費用に関する省令」
「国立高等専門学校の授業料その他の費用に関する省令」
「国立大学等の授業料その他の費用に関する省令」
（注）大学、大学院研究科の授業料は、標準額。

図表4-10 私立学校の入学料および年間授業料

（単位:千円）

	入学料				年間授業料			
	1980年度	1990	2000	2011/H23	1980年度	1990	2000	2011/H23
幼稚園	34.6	38.9	48.9	**52.4**	121.5	160.3	222.9	**255.7**
小学校	111.5	140.5	172.2	**185.3**	184.1	256.7	335.3	**411.6**
中学校	119.5	157.7	186.6	**186.4**	196.6	282.0	361.3	**400.5**
高等学校（全日制）	98.9	136.2	159.6	**160.9**	166.9	252.9	327.2	**376.6**
大学	190.1	266.6	290.7	**269.5**	355.2	615.5	789.7	**857.8**

資料:文部科学省「私立高等学校等授業料等の調査結果について」
「私立大学等の入学者に係る学生納付金等の調査結果について」
（注）1. 幼稚園から高等学校(全日制)の入学料、授業料は入学時の初年度生徒等納付金の一人当たりの平均額。
2. 大学の入学料、授業料は入学者の初年度学生納付金平均額(定員一人当たり)。

図表4-11 奨学金の申込資格と貸与月額および返還の例(2012年度/平成24年度)

第一種奨学金〔無利息〕

区分	学力(1年次に在学するもの)	設置者	通学形態	年収・所得の上限額(4人世帯の目安) 給与所得世帯(万円)	年収・所得の上限額(4人世帯の目安) 給与所得以外の世帯(万円)	貸与期間(月数)	貸与月額(千円)(注1)	返還の例(月賦返還) 貸与総額(千円)	月賦金額(円)	返還回数(年)
大学	高校2～3年の成績が3.5以上の者	国・公立	自宅	907万円程度	421万円程度	48	45	2,160	12,857	168 (14)
			自宅外	951	465		51	2,448	13,600	180 (15)
		私立	自宅	955	469		54	2,592	14,400	180 (15)
			自宅外	998	512		64	3,072	14,222	216 (18)
短期大学		国・公立	自宅	892	406	24	45	1,080	7,500	144 (12)
			自宅外	936	450		51	1,224	8,500	144 (12)
		私立	自宅	939	453		53	1,272	8,833	144 (12)
			自宅外	982	496		60	1,440	9,230	156 (13)

第二種奨学金〔利息付〕

区分	学力(1年次に在学するもの)	設置者	通学形態	年収・所得の上限額(4人世帯の目安) 給与所得世帯(万円)	年収・所得の上限額(4人世帯の目安) 給与所得以外の世帯(万円)	貸与月額(自由選択)(注2)	<返還例>大学学部・貸与期間48月の場合 貸与総額(万円)	返還総額(円)	月賦金額(円)	返還回数(回)	返還回数(年)
大学	①高等学校等における成績が平均水準以上の者 ②特定の分野において、特に優れた資質能力があると認められる者 ③学修に意欲があり、学業を確実に修了できる見込みがあると認められる者	国・公立	自宅	1,159	673	3万円	144	1,761,917	11,293	156	(13)
			自宅外	1,203	717	5万円	240	3,018,568	16,769	180	(15)
		私立	自宅	1,207	721	8万円	384	5,167,586	21,531	240	(20)
			自宅外	1,250	764	10万円	480	6,459,510	26,914	240	(20)
短期大学		国・公立	自宅	1,144	658	12万円	576	7,751,445	32,297	240	(20)
			自宅外	1,188	702						
		私立	自宅	1,191	705						
			自宅外	1,234	748						

(資料)日本学生支援機構「奨学金ガイド」(2012年度/平成24年度)
(注)1.学校の種類・国公私・進学形態にかかわらず、大学・短大・専修学校専門課程では貸与月額3万円を選択することができる。
2.年利率は、3%で計算(利率は3%を上限として変動)。

図表4-12 大学生の生活費(2010年度/平成22年度)

(単位:千円)

		自宅		学寮		下宿等	
		国立	私立	国立	私立	国立	私立
収入	家庭からの給付	623.4	1,058.2	697.4	1,573.7	1,186.2	1,724.6
	奨学金	242.3	386.5	475.8	472.6	372.2	471.4
	アルバイト	311.6	354.7	231.5	129.4	243.7	281.2
	定職収入・その他	42.5	52.6	47.6	40.9	47.2	56.3
	計	1,219.8	1,852.0	1,452.3	2,216.6	1,849.3	2,533.5
支出	授業料	502.9	949.8	440.3	921.8	511.9	1,013.5
	その他の学校納付金	10.7	179.0	9.4	198.3	6.1	193.2
	修学費	55.7	47.8	51.2	52.6	52.9	51.5
	課外活動費	43.1	37.6	46.2	52.2	49.2	40.0
	通学費	102.9	106.2	14.1	18.3	13.7	24.5
	小計(学費)	715.3	1,320.4	561.2	1,243.2	633.8	1,322.7
	食費	104.9	96.8	267.5	224.0	277.1	263.3
	住居・光熱費	−	−	189.6	342.7	511.7	478.2
	保健衛生費	39.5	40.8	34.0	35.0	38.6	40.1
	娯楽・し好費	132.1	133.2	131.5	128.6	145.9	149.1
	その他の日常費	93.8	101.5	122.4	86.8	102.7	109.8
	小計(生活費)	370.3	372.3	745.0	817.1	1,076.0	1,040.5
	計	1,085.6	1,692.7	1,306.2	2,060.3	1,709.8	2,363.2

資料:日本学生支援機構「平成22年度学生生活調査」
(注)1. 調査対象　大学院、大学学部及び短期大学本科の学生(休学者及び外国人留学生は除く)。
2. 調査時期　平成22年11月(隔年調査)
3. 数値は、大学・昼間部学生の年間生活費等。
4. 「修学費」は、教科書、参考書、実習材料費など。

図表4-13 子どもの1か月当たりこづかい額(2011年/平成23年)

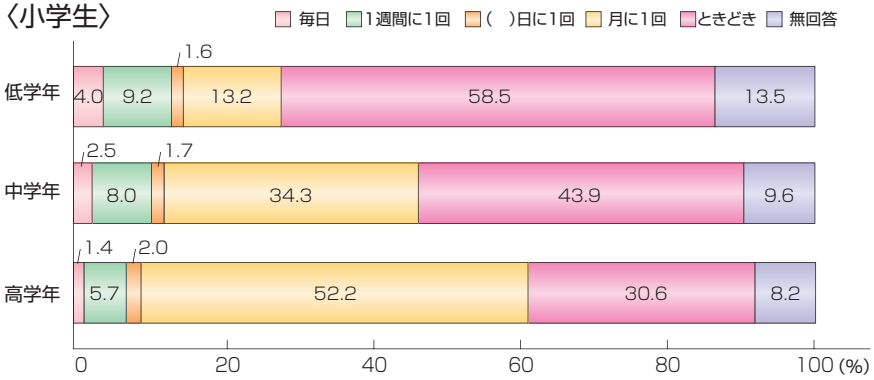
(単位:円)

		小学生			中学生	高校生
		1・2年	3・4年	5・6年		
全体		553	860	1,370	2,513	5,651
年間収入別	300万円未満	500	923	1,196	2,333	5,466
	300～ 500万円未満	578	826	1,377	2,482	5,287
	500～ 750万円未満	610	822	1,313	2,506	5,945
	750～1,000万円未満	433	1,178	1,167	2,339	5,179
	1,000～1,200万円未満	300	857	3,786	2,500	4,583
	1,200万円以上	463	1,025	800	2,500	5,313

資料:金融広報中央委員会「家計の金融行動に関する世論調査」〔二人以上世帯調査〕(2011年/平成23年)

図表4-14 おこづかいのもらい方・おこづかい額(2010年度/平成22年度)

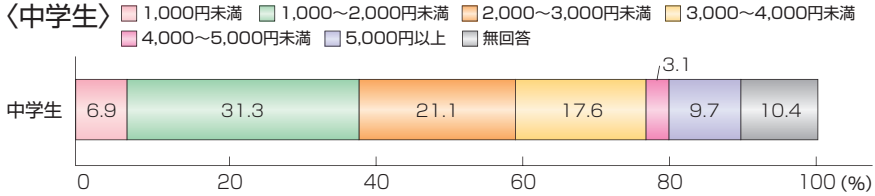
〈小学生〉



		最頻値	最も多い金額帯	次に多い金額帯	平均値	中央値
月に1回	低学年	500円	500～ 700円(21.7%)	100～ 200円(17.8%)	949円	400円
	中学年	500円	500～ 700円(27.3%)	1,000～1,500円(19.7%)	896円	500円
	高学年	500円	500～ 700円(37.6%)	1,000～1,500円(29.9%)	1,087円	1,000円
ときどき	低学年	100円	100～ 200円(32.6%)	100円未満(21.5%)	689円	100円
	中学年	100円	100～ 200円(24.6%)	500～ 700円(16.4%)	847円	300円
	高学年	1,000円	1,000～1,500円(23.7%)	500～ 700円(22.7%)	1,174円	500円

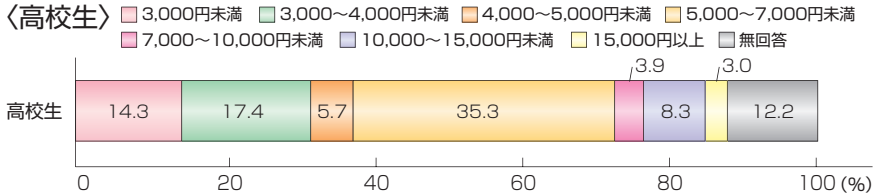
(注)最頻値は最も多く回答された値。中央値は回答金額を上位から下位に並べた場合に中位(真ん中)に位置する値。

〈中学生〉



最頻値	平均値	中央値
1,000円	2,502円	2,000円

〈高校生〉



最頻値	平均値	中央値
5,000円	2,305円	5,000円

資料:金融広報中央委員会「子どものくらしとお金に関する調査」(第2回)平成22年度
(注)1. 調査対象　小学生(低学年、中学年、高学年)、中学生、高校生(協力校は376校、サンプルは68,773名)
2. 調査時期　平成22年12月～23年3月

図表4-15 おこづかいの使い方(2010年度/平成22年度)

順位	小学生		
	低学年(8項目中)	中学年(14項目中)	高学年(16項目中)
1位	おかしやジュース(33)	ゲームソフトやおもちゃるい(43)	ゲームソフトやおもちゃ類(49)
2位	おもちゃなど(32)	おかしやジュース(42)	おかしやジュース(48)
3位	ゲームをする(32)	まんが(33)	まんが(48)
4位	ノートやえんぴつなど(27)	ノートやえんぴつなど(32)	本やざっし(39)
5位	いえのひとへのプレゼント(22)	ゲームをする(31)	ゲームをする(37)
6位	本やざっし(17)	家の人へのプレゼント(31)	友達へのプレゼント(35)
7位	まんが(15)	友だちへのプレゼント(23)	家の人へのプレゼント(34)
8位	ともだちへのプレゼント(13)	本やざっし(21)	ノートやえん筆など(32)
9位	−	休みの日にあそびに行く交通ひ(6)	友達との食事・おやつ代(28)
10位	−	DVD・ビデオやCDのレンタル(6)	CD・MD(15)

順位	中学生(27項目中)	高校生(27項目中)
1位	おやつなどの飲食物(79)	おやつなどの飲食物(88)
2位	友達との外食・軽食代(75)	友達との外食・軽食代(87)
3位	友達へのプレゼント(69)	休日に遊びに行く交通費(76)
4位	文房具(69)	小説や雑誌(74)
5位	小説や雑誌(69)	昼食(73)
6位	ゲーム代(68)	友達へのプレゼント(72)
7位	まんが(68)	文房具(67)
8位	家の人へのプレゼント(65)	映画やライブのチケット(67)
9位	休日に遊びに行く交通費(62)	まんが(66)
10位	ゲームソフトやおもちゃ類(60)	家の人へのプレゼント(64)

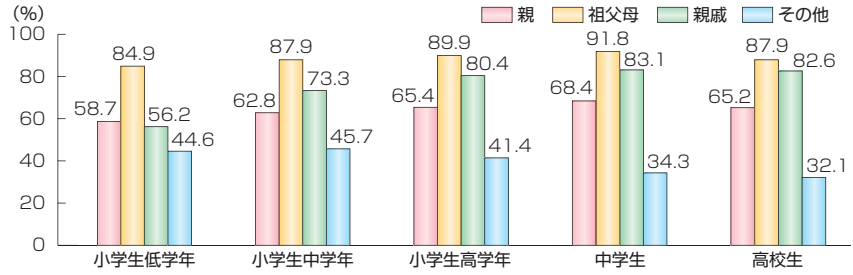
資料:金融広報中央委員会「子どものくらしとお金に関する調査」(第2回)平成22年度
(注)( )内は、当該項目の回答者の全体に占める割合、%(小数点以下四捨五入)。

図表4-16 お金に関する行動等(2010年度/平成22年度)

	小学校中学年	小学校高学年	中学生	高校生
高いものが欲しいときには、お金を貯めている。(注1)	76.4	74.0	73.5	77.5
おこづかいの使い方について、計画を立てている。(注1)	−	−	39.5	38.2
お金を使うときには、使い方をよく考えている。(注2)	−	84.8	−	−
高いものを買うときには、どこの店が安いかを調べたり、類似商品と価格や性能を比べたり、買った人の感想を聞いたりしている。(注1)	−	−	59.8	71.7
おつりをもらったら、確認している。(注1)	−	71.0	66.6	61.3
レシートをもらったら、金額を確認し、持ち帰っている。(注1)	−	−	52.5	44.2
保証書や取扱説明書は保管している。(注1)	−	−	68.4	72.0
うまい話には、裏がある。(注2)	−	−	−	74.5
将来のことよりも現在の方が大事である。(注3)	−	−	30.3	34.9

資料:金融広報中央委員会「子どものくらしとお金に関する調査」(第2回)平成22年度
(注)1.「そうしている」と回答した割合。
2.「そう思う」と回答した割合。
3.「そう思わない」と回答した割合。

図表4-17 お年玉をもらった相手（複数回答）



資料:金融広報中央委員会「子どものくらしとお金に関する調査（第2回）平成22年度」
（注）1. 調査対象　全国376校の小学校、中学校、高等学校の児童・生徒68,773名
2. 調査時期　平成22年12月～23年3月

図表4-18 お年玉の額

（単位:%）

	小学生低学年
1,000円くらい	5.7
2,000円くらい	4.0
3,000円くらい	5.5
5,000円くらい	12.3
10,000円くらい	24.6
20,000円くらい	16.9
30,000円くらい	8.8
もっと多い	16.1
無回答	6.2
合　計	100.0

	小学生中学年	小学生高学年	中学生	高校生
3,000円未満	2.3	1.5	0.4	0.5
3,000～5,000円未満	5.1	3.1	0.9	0.9
5,000～10,000円未満	12.1	7.3	3.6	3.2
10,000～20,000円未満	28.5	25.3	52.0	48.9
20,000～30,000円未満	21.9	27.2		
30,000～50,000円未満	19.2	25.0		
50,000～70,000円未満	7.6	8.6	9.8	12.4
70,000円以上			5.0	6.5
無回答	3.3	1.9	28.2	27.8
合　計	100.0	100.0	100.0	100.0

資料:金融広報中央委員会「子どものくらしとお金に関する調査（第2回）平成22年度」

図表4-19 お年玉の取扱い（複数回答）

（単位:%）

	小学生		中学生	高校生
	中学年	高学年		
家の人に渡す	40.9	34.3	24.3	12.9
銀行や郵便局などに貯蓄（預金や貯金）する	58.6	61.5	55.1	48.1
特別なものを購入する	17.6	22.3	29.5	31.4
おこづかいで不足する分にあてる	8.7	15.1	32.0	44.5

資料:金融広報中央委員会「子どものくらしとお金に関する調査（第2回）平成22年度」

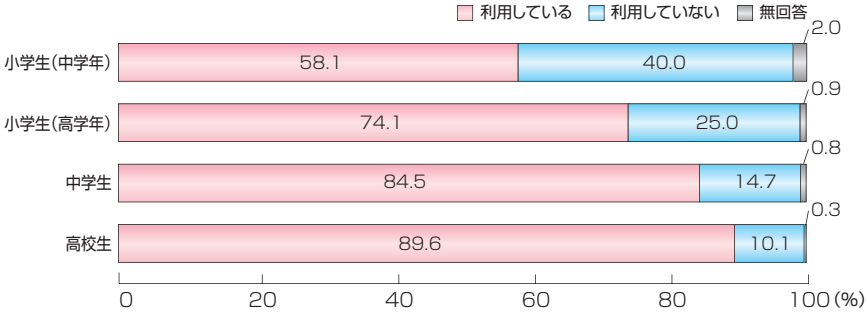
図表 4-20 携帯電話の利用料と自分で支払っている額（2010年度/平成22年度）

（単位:%）

	毎月の利用料		自分で支払っている額	
	中学生	高校生	中学生	高校生
2,000円未満	9.2	2.9	33.6	40.4
2,000～3,000円未満	7.5	3.1	0.9	1.6
3,000～5,000円未満	15.3	12.2	0.8	2.0
5,000～10,000円未満	25.0	54.2	0.5	5.6
10,000円以上	6.7	11.4	0.2	1.8
わからない	28.7	14.9	44.8	36.6
無回答	7.7	1.3	19.2	11.8

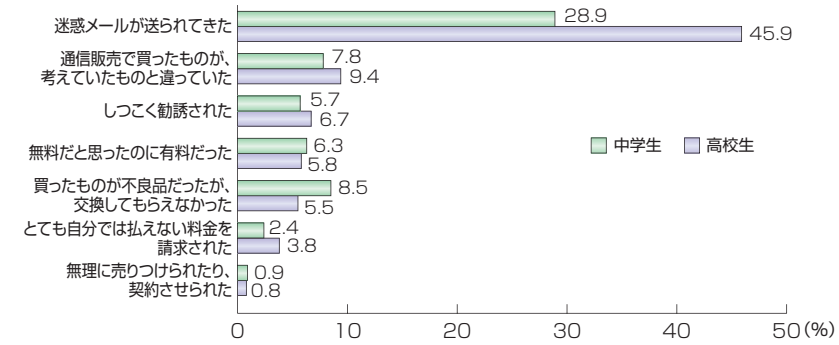
資料:金融広報中央委員会「子どものくらしとお金に関する調査」（第2回）平成22年度調査

図表 4-21 インターネットの利用状況（2010年度/平成22年度）



資料:金融広報中央委員会「子どものくらしとお金に関する調査」（第2回）平成22年度調査

図表 4-22 消費者トラブルの経験（複数回答）（2010年度/平成22年度）



資料:金融広報中央委員会「子どものくらしとお金に関する調査」（第2回）平成22年度調査
（注）1. 調査対象:全国376校の小学校、中学校、高等学校の児童・生徒68,773名
2. 調査時期:平成22年12月～23年 3月

図表 4-23 お金についての意識（2010年度/平成22年度）

（単位:%）

			そう思う	そう思わない	わからない	無回答
お金が一番大切である	小学生	低学年	24.3	53.2	12.7	9.8
		中学年	15.8	70.5	11.1	2.6
		高学年	10.9	74.9	13.0	1.2
	中学生		25.9	49.5	23.7	0.9
	高校生		34.8	39.3	25.2	0.7
お金持ちはかっこいい	小学生	低学年	21.8	53.1	17.9	7.2
		中学年	13.8	72.2	11.3	2.7
		高学年	11.6	73.7	13.3	1.4
	中学生		17.3	64.5	17.1	1.1
	高校生		21.7	60.1	17.4	0.8
お金よりも大事なものがある	小学生	低学年	64.6	16.0	11.7	7.7
		中学年	82.1	10.1	5.0	2.8
		高学年	86.6	6.8	5.2	1.3
	中学生		80.0	6.1	12.9	1.0
	高校生		74.8	6.1	18.3	0.9
お金をたくさん貯めたい	小学生	低学年	72.5	12.8	7.9	6.8
		中学年	82.9	9.3	6.3	1.5
		高学年	84.2	8.6	6.2	1.0
	中学生		89.1	4.7	5.3	1.0
	高校生		92.3	3.3	3.6	0.8
お金をもうけられるのはすばらしい	中学生		59.3	20.7	18.7	1.3
	高校生		72.2	11.6	15.3	1.0
法律違反でなければ、どんなことをしてお金をかせいでも良い	中学生		14.0	68.3	16.6	1.1
	高校生		16.6	65.5	16.9	0.9
お金を利用してうまくかせげるなら、それにこしたことはない	中学生		21.7	53.8	22.9	1.6
	高校生		33.1	41.9	23.8	1.2
お金はコツコツと働いて貯めるものである	中学生		82.2	7.1	9.7	1.0
	高校生		76.7	8.6	13.8	0.9

資料:金融広報中央委員会「子どものくらしとお金に関する調査」（第2回）平成22年度調査
（注）1. 調査対象　全国376校の小学校、中学校、高等学校の児童・生徒68,773名
2. 調査時期　平成22年12月～23年3月